

# ふれあい

(題字 室原亥十二)

## 歴史はエピソードの断続



理事長  
室原 亥十二

新年おめでとうございます。

今、日本の政治は盲目的、政策は Fiction、経済の Conundrum が続いています。

これも後世からみればエピソードとしかみられないでしょう。世界の興亡の歴史、日本の歴史、その他諸々の叢書を読んでつくづく感じることは、振り返ってみるとエピソードの断続です。例えば、紀元前のアレキサンダー大王、クレオパトラ、ハンニバル、ローマ帝国など、近代ではレーニン、ヒトラー、全て今から振り返ればエピソードです。

その陰に隠れた庶民の生活は歴史の中には記憶されない。

然し、民族はたくましく生き延びて、現に中東アジア、イラク、イラン、アフガニスタン等の様にアメリカ大国を悩ませています。明治以降の日本の歴史を振り返ってみても、一番輝かしい日露戦争も単なるエピソード。

話題の「坂の上の雲」も「秋山兄弟」もしかり。勝者のアメリカと敗者の普天間の問題もまた、いずれはエピソードとして歴史の中に埋もれるでしょう。

しかし、それらのエピソードの狭間でそれぞれ民族は、しぶとく生物の本能である生殖と闘争を繰り返して生き延びる。

民族に栄光あれ!

民族はエピソードに関係なく永遠です。

### 室原内科・小児科

〒862-0949 熊本市国府 1-11-9  
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

### 菊南病院

〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685  
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

利用者に「健康」・「希望」・「やすらぎ」を、  
その家族に「安心」を提供することにより社会に寄与し、  
職員は「生きがい」と「誇り」を持ちます。



看護部長挨拶

大森 千賀子

あけましておめでとうございます。

2009年は政権交代、新型インフルエンザの流行と漢字一文字で「新」を表現されました。医療界も、まだまだ厳しい時代が続くそうです。しかし、後は振り返らず歴史を気取って直江兼統（天地人より）のように、動乱の時代愛を掲げて直進したいと思っています。「人にやさしく！、地球にやさしく！、地域にもやさしい！」今年もどうぞよろしくをお願いします。

## 一般病棟

病棟師長 吉澤 裕美子

一般病棟は、32床の医療病棟です。当病棟から介護療養型病棟や回復期リハビリテーション病棟、また、退院へつないでいきます。また、他病棟より重症の患者様が治療のために移動して来られることもあります。病状が不安定な患者様が多い病棟ですので、緊急を要する検査や処置が多く、そのため急に慌てることがないようにまず自分たちは何に注意し、何をを行うべきか、を常に考えて行動するようにしています。

また、仕事がスムーズに運ぶようにスタッフは早めに出勤し、患者様の情報収集を行い、情報漏れがないように努力しております。

昨年は①スタッフ間のスムーズな連携②いつも患者様の為に何が必要かを考える看護を掲げました。口腔ケアや呼吸器を使用中の患者様のケアなどで、看護研究も行ってきました。患者様の病気や病状は様々ですが、一人ひとりの患者様を理解できるように病棟全体で話し合いを多くしながら取り組んでいきたいと思っています。また、他部署とも連



(病棟カンファレンス風景)

携し危険回避を第一に、また、患者様と同じ目線に立って考えられる病棟でありたいと思います。

そして、スタッフ間でも、お互い、認め合い思いやりの気持ちを持ち、感謝の気持ちを伝え合うことを持ち続けていきたいと思っています。そうすれば忙しい中にも癒しがあり、楽しい職場づくりができ、患者様にとっても居心地の良い病棟になると思います。けれども、悪いところに気づかれたら、ご指摘ください。良い環境作りを心がけたいと思います。

## 3病棟

病棟師長 天神 フサ子

菊南病院3病棟は、回復期リハビリテーション病棟です。ベッド数36床スタッフ数20名です。疾患は脳血管疾患、大腿骨頸部骨折術後等の整形疾患が多くを占めています。主治医、リハビリ部、地域連携室等、他職種と連携を取りながら患者様の健康保持の為、日々の体調等の変化、食事や排泄、夜間の睡眠等の観察ときめ細やかな看護を実践しています。

心身の障害によって引き起こされた生活の困難に対して援助し定期的に病状の説明や今後の方向性等についてカンファレンスを行い患者様やご家族が生活の再構築が出来るように支援しています。開設1年が過ぎ、多くの患者様の日常生活がスムーズに行われる姿、自宅へ退院される姿に



(病棟リハビリ風景)

私達スタッフ一同は、喜びを感じ一生懸命看護に取り組んでいます。

リハビリや入院生活が円滑に行えるように患者様の立場にたった看護を行っていきたくてと思っています。



## 1病棟

病棟師長 船木 綾子

1病棟は、ベッド数 55 床の介護療養型病棟です。看護師 15 名、ケアワーカー 13 名、准看護学生 1 名、専任のケアマネジャー 1 名のスタッフで構成され、入所患者様は介護度 1～5 の認定を受けている方です。現在平均要介護度 4.5 程度です。スタッフは若者からベテランと幅広い年齢層ですが、全員明るさ・優しさ・思いやり・やるき・元気をかね揃えております。また、当病棟はショートステイ(短期入所療養介護)4床の受け入れ病棟となっており、専任のケアマネジャーを中心にスタッフ一同取り組んでいます。利用者の入所期間中は、いかに快適に過ごし、家庭生活の延長に近づけるかと検討しながら関わっています。昨年は院内各部署の研究発表会で『ショートステイ利用状況報告と今後の課題』を取り上げました。ここ 1～2 年利用者の増加傾向を喜んでおりますが、今以上に利用者の声を聞きながら期待されるショートステイの受け入れができるように取り組んでいきたいと思っています。病棟目



(お食事のひととき)

標である「患者様のニーズに応え、安全で、根拠のある看護、介護を実践する」を達成するため一人ひとりが常にケアの中心は患者様であるということを忘れず、入所生活が穏やかに送られるように援助し、ケアの質の向上に努め、スタッフがやりがいを感じ、患者様、ご家族に信頼される病棟になるよう努力していきたいと思っています。毎週土曜日の午後、患者様食堂で生活リハビリとして、『カラオケ大会』を開催しています。興味のある方はどなたでも結構です。是非ご参加ください。

## 2病棟

病棟師長 水上 寛子

当病棟は、菊南病院の本館 3 階～東館 3 階に位置し、ナースステーションを境に放射線状に広がる病棟で 55 床の介護療養型病棟です。

目的としては、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護その他の世話及び機能訓練、医療行為を行なうことにより、ご入所の方の状態に応じ可能な限り自立した生活を営むことができるよう、施設サービスを提供しています。

○利用については、

介護保険の被保険者で、要介護 1～5 の認定を受けた方で医療行為を必要とする方

サービス内容

医療、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、療法士による機能訓練、入所者同士の様々な交流やレ



(嚥下体操)

クリエーション等、在宅復帰に向けて「かえるプロジェクト」(外出、外泊支援、地域との連携をとりサービスの調整)、排泄ケア(排泄訓練)等を提供しています。

患者様、ご家族の希望をケアマネジャー(担当介護支援専門員)がお聞きし、施設サービス計画書(ケアプラン)を作成し、患者様、ご家族に説明し、同意を頂いたうえで施設サービスを提供しています。



## 第100回きくなん活き活き健康教室



栄 養 部  
健 康 管 理 部

# 活き活き健康教室 100回目を迎えました

菊南病院では、病気の患者様の治療をはじめ、企業の方々を対象とした一次予防のための、健康測定及び健康指導を行っております。

病院は、病気の患者様の治療の場であって、健康な方達はあまり足を向けたくない場所とっていらっしやる方が大半だと思います。

しかし健康は、「食事」「運動」「休養」が大切であるということは、誰もが周知していることです。ただ、いざ！実行しようとするとなかなか実行できないのです。

そこで、菊南病院を利用されている方々や地域の皆様にも、何とか健康についてあらゆる面からのお手伝いが出来ないものか！病院食は最高の健康食で、本当はとても美味しい食事だとわかってもらえる場がないものかと考えた結果、「運動」「医師による講話」「病院食の試食会」「身近な最近の問題」などの講演を取り入れた3時間程の健康教室案に室原院長の賛同を得、健康管理部・栄養部が中心になって立ち上げ、平成13年8月29日に第1回目を開催し、平成21年12月16日に第100回目を迎えました。

第1回目は参加者12～13名から始まり、次回の参加人数に冷や冷やしたものでしたが、あっという間に参加者が増え、最近では入院患者様やそのご家族、また外来患者様などや皆様の口コミによって、随時50名前後の方々に参加していただけるまでに成長いたしました。

第100回目は、これまで活き活き健康教室に参加された方々を御招待し、同窓会さながらのにぎわいで約100名の方に参加していただき、いつもの5階多目的ホールを抜け出して、お隣のロマネスクリゾート菊南に場所を移しての盛大な開催となりました。

まず10時から、きくなん活き活き健康教室発起人の森田智子栄養部長より、この教室を立ち上げた時の思いや、目的などの話がありました。

その後「きくなん活き活き健康教室100回までの歩み」として、第1回目からの教室実施風景や、その時々のエピソードを中嶋朋子健康管理部課長がコメントを交えながら、写真と共に振り返りました。年に2回開催しております、野外活動の写真がスクリーンに現れると、皆さん懐かしそうに、お友達と顔を見合わせ、思い出に浸っておられるようでした。

またふれあい編集長でもあり、活き活き健康教室の参加メンバーでもある室原鈴子氏をはじめ、最多参加の三浦徳夫様、山下美代子様からのご挨拶や、この教室に参加して健康に関心が深くなったなどの感想をお話していただき、スタッフ一同大変励みになりました。

「おたのしみ余興」としまして、ボランティアによる森本義文さんの愉快なパフォーマンスによるマジックショー、中尾るみさんのクリスマスソングを盛り込んだ「涙そうそう」「川の流れるように」など懐かしい歌をみんなで口ずさみながら、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回は、病院食ではなくホテルの食事をいただき、盛り付けや彩りなどの勉強にもなりました。

午後からは室原良治院長に基調講演「脳卒中はFAST」のお話を伺いました。FASTとは、脳梗塞の発症が疑われる場合に、顔の片側がゆがむ（FACE）、片方の腕に力が入らない（ARM）、言葉が話せない（SPEECH）などの症状が現われるということです。また脳梗塞の治療は、発症からの経過時間（TIME）が勝負で、なにはさておき治療可能な医療機関に駆けつけということでした。この大切な内容をジュエスチャーや動画を交えながらおもしろおかしく、また判り易く説明され、いつもの巧みな話術にみんな引き込まれて、「大変勉強になった。ためになった。」との感想が多く聞かれました。

クリスマスも近かということもあり、参加者の大石孝子様からの素敵な手作りのリースが会場を華やかに彩り、またお土産として栄養部手作りのクリスマスケーキを皆様にプレゼントしました。

同窓会に来たようで楽しかった、又これを機会に再入会したいなどと、皆様よりたくさんのご感想や励ましをいただき、無事100回目を終了することが出来、安心しました。

これからも150回、200回を目指して、より発展的な教室作りを心がけ、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。これからもきくなん活き活き健康教室をよろしくお願い致します。





## 長寿祝

おめでとうございます!  
佃 幸子様 100歳の表彰

平成 21 年 9 月 15 日敬老の日に入院加療中の佃様のもとに自治体の代表の方が来院。記念品とともに表彰がありました。

ご家族やお孫さんより電報も届き、記念撮影も行いました。心よりお祝いを申し上げます。



1病棟に入所中の林ヤス様(101歳)  
よりピアノを寄贈して頂きました。

林さんは、若い頃、音楽の先生をされており、ピアノが大好きでした。95歳迄ピアノを弾かれていたそうです。このピアノは(アブライト U-5)というタイプで、林さんが若い頃、娘さんへプレゼントされたものだそうです。娘さんが“母の元へ返したほうが、いいのではないか”。ということで、入所中の菊南病院へ寄贈されることになりました。とても美しい音色を奏でます。OT室に設置してあります。ピアノのお好きな方、そうでない方も演奏会等如何でしょうか?

ピアノ  
寄贈して  
頂きました

## 北部東小学校 との交流会

平成 21 年 11 月 25 日、27 日と 12 月 8 日の 3 日間、北部東小学校 4 年生の 3 クラスの児童達が授業の一環として、通所リハビリテーション利用者との交流の為に菊南病院へ来院されました。そこで日頃学校で練習している合奏及び遊戯の発表がありました。合奏は宇宙戦艦ヤマトのテーマソングを演奏、遊戯では沖縄の伝統芸能であるエイサーの披露でした。各クラスの特徴がよく出ていて、同じ演奏や遊戯でも違った面白さがあり、利用者も喜ばれていました。

子供達、ご利用者、お互いに思い出に残る交流となりました。



## 〈お知らせ〉

住所表示整備事業により、平成 22 年 2 月 22 日から菊南病院の住所が変わります。  
(新住所) 郵便番号 861-5517  
住 所 熊本市鶴羽田 3 丁目 1 番 53 号







# お仕事

事務部  
梅木  
綾子

当たり前の事であるが、報酬をもらって働く事だけが、仕事ではない。家事、子育ても立派な仕事である。

私は家事と子育てをしながら仕事をしている。これだけ述べても2足のわらじならぬ、3足のわらじで、いかにも頑張っている様に思われるかもしれない。でも、私の家事なり、子育てはいわゆる専業でされているそれとは、明らかに、いえ、絶対に違っていると思う。

子育てはともかく、主婦業を極めるのは、並みたいではない、現に主婦業の一部を報酬をいただける“仕事”にしている人もいるほどである。

そんな極端な例では無くても家事という仕事は、本当に奥が深いものである。料理にしても、掃除にしても、どれをとっても大変なものばかり！それも年がら年中！

私自身、正直、子育て・家事・仕事、全て完璧にこなさなければ、と悩んだ時期もあった。だが、悩めば悩むほど空回りし、完璧どころか、全てがダメになってしまう。私にとって、どれも捨てがたい大切な“仕事”

どれか一つを諦めるなんて出来なかった。そんな時、私を救ってくれたのが、家人の「そんなに頑張らなくていいよ」という一言であった。目からうろこはこのことで、そうか、ああ頑張らなくていいんだ。そう思えた時、肩に入っていた力がすーっと抜けていき、とても気持ちが楽になった。

出来ることから、少しずつしていこう。出来ないことは出来ない。きっぱりあきらめようと。積極的に、メリハリをつけることで、結果何となく全てがいい方向に回ってきたかな？という感じである。

これからも、肩に力をいれることなく、出来る事からコツコツと“仕事”を続けて行きたいと思っている。

## 病院の職場からとどいた **愛** のメッセージ 「私のお仕事」編

オランダから来た留学生が日本のホテルに泊まった時とても感激していた。「あいさつやサービスがすごい。オランダではこんなことはしない」と。丁寧なあいさつから始まり荷物を運んだり、部屋まで案内したり、日本人の私にとっては当たり前の光景だった。その他にもレストランに入った時に一斉にかかるあいさつにも驚いていたし、日本人はとても親切だと言っていた。

一方、ヨーロッパではすべてはそうではないだろうが、日曜は店が閉まり、ピザをとるなどの手続きは時間がかかるそう（日本の時間がかかるとは比べ物にならない）。さほど仕事に重きを置かず、日本人からしてみればルーズな印象さえ受ける。

留学生の言葉を聞いて、日本人は勤勉なのだと思ったし、ルーズさを許さない国民性なのだと感じた。サービスの質の高さは誇りに思う一方で、そんな高い質を求められて仕事をしていて、窮屈ではないのかと改めて考えさせられた。もう少しゆとりを持つべきではないのか。

テレビで見たのだが、皮肉なことに日本人は勤労時間のわりには他の先進国に比べて利益が伴ってないらしい。

この不況で就職できない人がたくさんいる中で、私はワークシェアも一つの手だと思う。仕事を分け合い、一人にかかる負担を減らしていければと考える。仕事に時間を費やすのも大切かもしれないが、一人の時間や家族との時間はもっとかけがえのないものであると私は思っている。

今後も、ゆとりをもちつつ、うまく仕事と付き合っていければと思う。

薬剤部 鮫島 浩子

お仕事



# ◎外来担当医のお知らせ◎

菊南病院

	月	火	水	木	金	土
午前	室原	赤星	室原	室原	室原	室原
	古庄	加古	古庄	加古	加古	赤星
	前田	前田	前田	—	前田	前田
午後	室原(予約)	—	室原(予約)	室原(予約)	—	居残り 当番医
	大脇	中島	赤星	中島	古庄	
	—	—	守屋(隔週)	—	赤星	

- 診察日・時間:月～土曜日 午前9時～午後5時
  - 休診日・時間:日曜・祝祭日・年末年始等 但し、急患の場合は24時間受付いたします。
  - 整形外科(前田先生)・脳神経外科(守屋先生)
- ※H21.4.9より室原先生予約診療が、金曜午後から木曜午後に変更になりました。

## 室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二
			高血圧外来 (Dr.梅田)		毎月第二・第四金曜日 腹部エコー検査	糖尿病外来 (Dr.後藤)
午後	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二
			喘息外来 (Dr.藤井)		心臓外来 (Dr.室原良治)	心臓外来 (Dr.室原良治)

- 診察日・時間:月～土曜日 午前8:30～午後6:30
  - 休診日・時間:日曜・祝祭日・年末年始等
- (その他の教室)  
 毎月第二火曜日 午後2時より「生きがい塾」  
 毎週月・木曜日・午前 「ハツラツ健康運動教室」  
 毎週土曜日・午後 「気功教室」中国医療気功整体師 池田知良先生

### 誕生会を開催しています。

毎月第3水曜日に、全病棟合同の誕生会を開催しています。療養生活の中で楽しみ、生きがいを感じていただいております。

誕生会の流れとして、患者様お一人ずつ紹介、プレゼントの花束贈呈とパースデイソングを患者様と歌いお祝いします。またスタッフの出し物も歌や体操等、四季を取りいれながら季節を感じて頂ける雰囲気作りを心がけています。さらに外部からの演奏や踊り等のサプライズもあります。最後にはパースデイケーキを準備し、ご家族や職員との写真撮影をします。

患者様一人、一人が主役の誕生会を今後も続け、レクレーションの充実を図っていききたいと思います。



### 編集後記

昨年は、政権交代し明るい希望のもてる生活をと期待したが、スッパリしないまま、新しい年を迎えた。そんな思いの中、ふと戸外に目を移すと、きびしい寒さの中、水仙や山茶花は美しく凛として咲き誇り、人々の心を癒してくる。86歳生涯現役と猪突猛進の理事長の姿に心を痛めていた私の予感の中、昨年11月21日狭心症の重症。救急車で中央病院に入院。心臓の再手術。高血圧の回復力遅く珍しく床につき事が長かった。筋力の衰えは驚くばかり。今度は無謀ともいえる激務を反省し、体をいたわる事に気づいた。奇る年波には勝てず、老々介護の苦痛を身にしてみても、二人三脚で人生をゆつたり全うしたいものだ。59号は菊南病院各病棟の部長さん方の貴重な記録に目を通して下さい。敬愛するマザーテレサの言葉に、喜びは折り、頑張る力、喜びは愛の精神で、をモットーに頑張っております。100歳の長寿、個々子孫おめでとございませう。強靱な心身のお力には、頭がさがります。心から拍手を送ります。又、北部小学校との交流会、若者とのふれあいをこれからも大事にしていきたいものです。昨年末、「きくなんいきいき健康教室」の8年間、100回記念のイベントがありました。当日は、「ロマネスクリゾート菊南」で100名の会員の出席で今迄の足跡のライド、マジックショー、ミニサイタル等、余興も準備され、参加者の皆様のいきいきと輝いたお顔に感動しました。あらためて、スタッフの方々のたゆまぬ努力が、この偉業達成の大きな原動力になったこと、感謝の念を深めました。最近、年を重ね、少々ひがみっぽくなった私は、「後期高齢者」の名称にいささか、ムカついていました。私のみでない或る記事を目にしました。慎んで「高貴高齢者」なる尊称をさしあげたいというお言葉にわが意をえたりと、機械になつてしまいました。十二支では、今年が「寅年」。虎うそぶけば風さわぐ、今年ことわざの様に、英雄の出現で天下に風雲を、今年こそまさきおこしてほしいものです。

(編集長 室原鈴子)